様式-1-2

受付番号：22-a03

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

C 型肝炎ウイルス駆除後の発癌リスクスコアリングシステムの構築を目指した多施設共同研究

研究計画

(1)背景・意義

慢性 C 型肝炎／肝硬変に対して直接作用型抗ウイルス薬(DAA)が使用可能となり、多くの患者さんでウイルス駆除(SVR)が達成可能となりました。これからはウイルス駆除後の肝発癌が課題のひとつです。

今後、大勢のウイルス駆除達成患者さんに効率的な肝発癌サーベイランスを行うことはおおきな課題です。ウイルス駆除達成患者さんの発癌リスクは徐々に明らかになっており、リスクに応じた定期検査を行うことは、患者さんの検査負担の軽減だけでなく、医療経済の改善につながる可能性があります。

(2)目的

本研究の目的は、上記のコホートから発癌リスクスコアリングシステムを構築し、発癌リスクの層別化を行い、さらにそのスコアリングシステムの外部コホートにおける外的妥当性を検証することです。これにより、患者さんのリスク別に C 型肝炎治療後の検査の適正化を検討します。

(3)方法

C 型慢性肝炎または C 型肝硬変の患者さんで、抗ウイルス療法により1990年4月～2019年12月の間に持続的ウイルス学的著効を達成した患者さんを対象とします。個人情報を除いた臨床データを集計し、解析・検討します。

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。
なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

東京警察病院　消化器科　部長　小椋啓司

電話　03－5343－5611（代表）